２０１９年度　委員会・地区支部　活動報告書

鹿児島地区支部　　支部長：米倉治美

活動目標	・会員の資質向上。 ・社会福祉士の認知度向上。 ・会員間のネットワーク構築。
具体的活動内容	・アクティブ・ブック・ダイアローグ読書会の実施。 外部から講師を迎え、１１名の参加者とともに川喜多次郎二郎『発想法』を読み、対話を行った。新しい読書法について学ぶとともに、ＫＪ法についての理解を深める機会となった。 ・ソーシャルアクション実践について、杵築市にて行政でソーシャルワークを行っている岡江晃児氏から、具体的にどのように行動に移していくか２３名の参加者とともに学ぶ機会を設けた。 ・鹿児島市わくわく福祉交流フェアに参加し、社会福祉士会の活動を周知するとともに、ＳＷ４団体で交流を行った。 ・日本社会事業大学の土屋佳子先生をお招きして、災害と子どもの支援について１９名の参加者とともに、土屋先生が実際に支援に携わってこられた事例から学ぶ機会を設けた。
今後の課題	・鹿児島地区支部の会員の方の参加が伸び悩んでいるため、地区支部としての横のつながりを構築していく方法を探っていきたい。 ・学びの機会が単発になりがちなので、継続して学ぶ機会を設けることも検討し、学びのコミュニティ作りも行っていきたい。その際、「地区支部」という枠の取り扱いについても検討する必要が出てくるかもしれない。

委員会・研修会等開催状況	主な内容
第１回　地区支部研修	アクティブ・ブック・ダイアローグ読書会にて、川喜多二郎『発想法』を読み、対話の場を設けた。
第２回　地区支部研修	岡江晃児氏による『ソーシャルアクション実践～個別支援だけでは終わらないプロフェッショナルなソーシャルワーク』研修。ワークを通して理解を深めた。
わくわく福祉交流フェア参加	鹿児島市の同イベントへ、ＳＷ４団体として参加。 ソーシャルワークの周知と交流。
第３回　地区支部研修	土屋佳子氏による『災害と子ども支援』研修。 県内において、子どもと家庭への支援を中心に置いた災害対応研修と出会う機会がなかったので企画した。県内各地から災害支援、こども家庭支援に関心のある方々が集まった。